

第10期川崎市市民文化大使が決定しました！

1 第10期川崎市市民文化大使（敬称略、50音順） 計11組（新任1組、再任10組）

※各大使のプロフィールについては別紙パンフレットを参照

〈新任〉

氏名（ふりがな）	分野
松本 利夫（まつもと としお）	俳優

〈再任〉

伊藤 多喜雄（いとう たきお）	民謡歌手
鶴澤 久（うざわ ひさ）	能楽師
大谷 康子（おおたに やすこ）	ヴァイオリニスト
大矢 紀（おおや のり）	日本画家
小原 孝（おばら たかし）	ピアニスト
国府 弘子（こくぶ ひろこ）	ピアニスト
佐藤 征一郎（さとう せいいちろう）	声楽家
SHISHAMO（ししゃも）	ミュージシャン
成田 真由美（なりた まゆみ）	パラリンピックメダリスト
パンチ 佐藤（ばんち さとう）	スポーツタレント

2 任期

2年間（令和3年12月1日から令和5年11月30日まで）

3 選定方法

令和3年8月5日から9月2日まで市民及び庁内から候補者の推薦を募集し、推薦のあった方のうち、川崎市市民文化大使選考委員会の選考を経て、11組を決定しました。

4 その他

第9期をもって市民文化大使を退任される与勇輝氏（人形作家）には、名誉文化大使の称号をお贈りします。

川崎市市民文化局市民文化振興室 松山
電話 044-200-2122
FAX 044-200-3248

<川崎市市民文化大使について>

1 目的

川崎市市民文化大使の制度は、平成15年度に設置し、文化芸術・スポーツ分野で活躍している方に、市長の代理として交流事業等への参加や、御自身の活動の中で市の広報・宣伝をしていただくことなどにより、市のイメージアップを図ることを目的としています。

2 要件

- (1) 美術、音楽、工芸、映画、演劇、文学、芸能、伝統文化、民俗芸能、スポーツ等の分野において活躍し、その分野に造詣が深い方
- (2) 川崎市内在住者、または、川崎市とゆかりのある方

3 職務

- (1) 国内外の都市との交流事業に参加し、川崎市の紹介や広報・宣伝を行うこと。
- (2) 文化講演会等に出席すること。
- (3) 御自身の活動の中で、川崎市の広報・宣伝を行い、川崎市のイメージアップを図ること。
- (4) 文化芸術及びスポーツ等の振興や川崎市のイメージアップに関する助言を行うこと。

4 任期 2年（再任可）

5 活動実績

川崎市市民文化大使制度の目的に従い、友好都市であるオーストラリア・ウーロンゴン市、米国・ボルチモア市、韓国・富川市、オーストリア・ザルツブルク市に市長と同行あるいは市長の代理として訪問し、文化交流を通じて親善に努めていただいております。また、市関係の各種行事などに出席いただき、市民文化大使自身の活動の中で川崎市のPRや広報等を行っていただき、などイメージアップにも貢献していただいております。

<新任の大使について>

まつもと としお 松本 利夫 (EXILE)

【プロフィール】

神奈川県川崎市出身 46歳

2001年9月27日、EXILEのメンバーとして「Your eyes only～曖昧な僕の輪郭～」でデビュー。2007年9月、舞台『太陽に灼かれて』より役者活動を開始。2015年12月31日、USA、MAKIDAIと共にEXILEパフォーマーを卒業。



【活動など】

川崎市内の高校を卒業。16歳からダンスを始め、その後、EXILEメンバーとしてパフォーマンスをしながら、俳優として舞台や映画、テレビドラマなどに活躍の場を広げました。2015年にパフォーマーとしての活動を卒業してからも、ダンサー、俳優として幅広く活躍しています。また、警察庁「SOS47 ストップ・オレオレ詐欺 47～家族の絆作戦～プロジェクトチーム」にて特別防犯支援官を務め、全国で相次ぐ特殊詐欺被害への対策を訴えるなど、社会的活動にも熱心に取り組んでいます。

令和3年1月には、地元・川崎を応援する動画プロジェクト「川崎利夫」をYouTube上及び会員制動画配信サービスCLに立ち上げ、川崎への想いととも、市内の多彩な魅力を行政とは異なる視点で配信しています。

本市の事業にも御協力いただき、コロナ禍となった昨年5月には、川崎の子どもたちに贈る動画「メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～」に応援メッセージを寄せています。今年1月には「坂本九生誕80周年記念事業ビデオ」、2月にはテレビ神奈川の市広報番組「LOVEかわさき」に出演するなど、メッセージや歌、ダンスを通じて川崎市民を元気づけています。

また、今年5月には、川崎ブレイブサンダースの試合のハーフタイムイベントに、スペシャルゲストとして出演するなど、ホームタウンスポーツとのコラボ活動も積極的に行っています。

【川崎市PRプロジェクト「川崎利夫」動画配信中】

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UC2KS8uiiN-arunD01DoKiJw/featured>

会員制動画配信サービスCL <https://www.cl-live.com/>

<再任の第10期市民文化大使の皆様から、大使継続についてのコメント>

伊藤 多喜雄 様（民謡歌手）

新型コロナウイルス感染拡大で町や村の祭りが消え芸能文化活動が立ち止まりました。「音楽のまちづくり」を掲げている川崎市から暮らしに必要な歌や踊りを取り戻すため「川崎から見える芸能」を全国の仲間に伝えて行きたいです。

鶴澤 久 様（能楽師）

コロナ禍で公演中止など舞台人にとって辛い日々ですが、昨年七月に川崎市文化財団主催「夏休み能楽体験鑑賞教室」が三十周年を迎え子供達による能「土蜘蛛」が上演されました。能を通して日本を知り、世界でも活躍する未来を担う子どもが育って行くことを願っています。

大谷 康子 様（ヴァイオリニスト）

このたびの再任、大変光栄でうれしく思っています。私は大学時代から、<音楽のちから>で社会が少しでも明るくなるようにと活動してきました。[音楽のまち川崎]で、さらに皆様の心に響くように務めてまいりますのでよろしく願いいたします。

大矢 紀 様（日本画家）

終わりのない道ですが、健康に気を付けて、自分の為、地域社会・日本の為に、文化力向上をめざし、文化大使としてがんばりたいと思っています。

小原 孝 様（ピアニスト）

コロナ禍ではYouTube・SNSで音楽を発信していましたが、来年から本格的な演奏会開催を目指しています。2年前中止になった坂戸小学校合唱団（川崎市民文化賞受賞）との共演を、2022年2月ミュージア川崎でリベンジします。子供たちが卒業して一度は断念しましたが、卒団生が新しくジュニア合唱団・Uniを結成。美しいハーモニーとピアノの音色を、心を込めて市民の皆様にお届け致します。

国府 弘子 様（ピアニスト）

今、演者のみならず人間全てに必要なのは「芸術の必要性」を信じる強い心。音楽を愛する街として大きく成長を遂げてきた川崎の文化大使として、人の心に寄り添う想像力を忘れず、この街の成長に尽力したいと思います。

佐藤 征一郎 様（声楽家）

コロナ騒動直前の2019年に総監督として市民と3合唱団の協力で民話オペラ「宝薬」をカルッツで上演。現在モーツァルトのバスアリア集に続き、前人未到のドイツ歌曲の歴史を辿った30年連続独唱会の記録をCD化に準備中です。

SHISHAMO 様（ミュージシャン）

今期も川崎市の市民文化大使として音楽活動をできる事、とても嬉しく思います。コロナ禍により減っていたライブも今年は少しずつ増えており、ステージで演奏できる事へのありがたさを日々感じています。今期も、大好きな川崎に恩返しができるよう音楽活動に励みたいと思います。

成田 真由美 様（パラリンピックメダリスト）

2020東京パラリンピックが終わりましたが、これからがスタートという気持ちで、川崎をもっと住みやすくしていきたいと思います。

パンチ佐藤 様（スポーツタレント）

これからも子どもたちの見本になるオジサンを目指し、また、美味しい町川崎を発信して行きます。

川崎市市民文化大使とは…

川崎市では、文化芸術・スポーツの分野で活躍している市にゆかりのある方々に川崎市市民文化大使をお願いし、川崎市のイメージアップに御協力いただいております。市民文化大使の皆さんには、国内外の姉妹都市・友好都市との交流事業や市内で行われる文化行事などに市長の代理として参加をしていただいたり、文化振興についての提言などを行っていただきます。



市民の花 つつじ
Azalea: City's symbol flower

市民の木 つばき
Camellia: City's symbol tree



The City of Kawasaki invites citizens actively engaged in fields of culture, arts and sports to become the Cultural Envoys of Kawasaki and work in cooperation with the promotion of a positive image for the city both in Japan and abroad. Duties of a Cultural Envoy involve delegation visits to the City of Kawasaki's domestic and international Sister and Friendship Cities for exchange activities and cultural events. In addition, the City seeks recommendations and proposals from the Cultural Envoys to further the promotion of culture.

Citizens' and Cultural Affairs Promotion Office, City of Kawasaki
Kawasaki Frontier Building 9F, 11-2 Ekimachoncho.Kawasaki.210-0007
Phone: 044-200-2029 Fax: 044-200-3248



等々力陸上競技場
(川崎フロンターレの応援風景)



かわさき宙(そら)と緑の科学館



川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム



川崎市岡木太郎美術館



川崎能楽堂



川崎市アートセンター



川崎浮世絵ギャラリー
～斎藤文夫コレクション～



川崎市スポーツ・文化総合センター
(カルッツかわさき)



ミューザ川崎シンフォニーホール

第10期 川崎市市民文化大使

THE CULTURAL ENVOYS OF KAWASAKI



Colors, Future!

いろいろって、未来

川崎市

川崎市市民文化局市民文化振興室

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル9階
TEL 044-200-2029 FAX 044-200-3248

いとろ たきお
伊藤 多喜雄
Takio Ito

民謡歌手
Folk Singer



高津区在住。民謡の復活を目指し、様々なジャンルとコラボレーションした独自の世界を構築。NHK紅白歌合戦に2度出場。プロデュースした「南中ソーラン」がTBSドラマ「金八先生」で取り上げられ、現在は日本のみならず海外でも、幼児から若者・高齢の方まで幅広く聴られています。2020年川崎市文化賞受賞。

うざわ ひさ
鵜澤 久
Hisa Uzawa

能楽師
Noh Actor

観世流シテ方能楽師として、3歳で初舞台以降様々な曲を演じ、平成29年には大曲「楡垣」を所演。国内外の公演、また現代演劇にも出演するなど幅広く精力的に活動し、その舞台成果は高く評価されています。平成2年から川崎市において「夏休み能楽体験・鑑賞教室」を指導。重要無形文化財総合指定保持者。安宅賞、川崎市文化賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。



おおたに やすこ
大谷 康子
Yasuko Ohtani

ヴァイオリニスト
Violinist



「歌うヴァイオリン」と称され国内外での暖かい演奏は絶賞を博し、2019年には本市と8つの姉妹・友好都市等の音楽を集めたコンサートが感動をよびました。テレビ「おんがく交差点」では毎週司会と演奏を務め、2021年10月には「好きです かわさき 愛の街」を披露。被災地や病院などへも訪問しており、11月には幸区の学校へ訪問演奏を行っています。東京音楽大学教授、東京芸術大学講師。川崎市文化賞、文化庁「芸術家大賞」受賞。公式YouTube「やっこチャンネル」続々配信中。

おおや のり
大矢 紀
Nori Ohya

日本画家
Artist

麻生区在住。厳かな大地の胎動やみずみずしい生命の輝きを描き、昭和30年に院展初入選。以後、受賞多数。「50年暮らした川崎に何かを還元したい」という思いから多数の作品を寄贈していただき、そのうちの1点は川崎市スポーツ・文化総合センター「カルッツかわさき」に展示されています。川崎市文化賞受賞。2020年神奈川県文化賞受賞。



おぼら たかし
小原 孝
Takashi Obara

ピアニスト
Pianist



高津区在住。NHK-FM「弾き語りフォーユー」パーソナリティ、50枚のソリアルBUM発表、全国各地で1500回以上のコンサート、市内の演奏会にも積極的に出演。東日本大震災復興支援 逢えてよかったね友だちプロジェクト」などボランティア活動も積極的に行っています。尚美学園大学客員教授、国立音楽大学非常勤講師、川崎市文化賞受賞。

こくぶ ひろこ
国府 弘子
Hiroko Kokubu

ピアニスト
Pianist

川崎市出身。数々の演奏経験を経てその音色にますます深い情感をたたえ、ジャンルを超越した共演者から熱いラブコールの絶えないオンリーワンのピアニスト国府弘子。2022年にデビュー35周年を迎える。『かわさきジャズ』アルテリッカしんゆり』でもお馴染み。尚美学園大学、平成音楽大学客員教授、川崎市文化賞受賞。



さとう せいいちろう
佐藤 征一郎
Seiichiro Sato

声楽家
Vocalist



高津区在住。ドイツの歌劇場専属首席バス歌手として活躍。帰国後もオペラ、コンサート、特に前人未到のドイツ歌曲30年連続独唱会を完遂。約50年のC.レーヴェ演奏研究が認められ、プライ、フィッシャーデイスカウラと外国人初の国際C.レーヴェ協会名誉会員となる。洗足学園音楽大学名誉教授、文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部大臣新人賞、川崎市文化賞等受賞。二期会員。

ししやも
SHISHAMO
SHISHAMO

ミュージシャン
Musician

川崎市出身のスリーピースロックバンド(Gt.Vo 宮崎朝子 Ba 松岡彰 Dr 吉川美芽貴)。川崎総合科学高等学校の軽音楽部にて結成され、2013年春、卒業と同時に本格的にバンド活動を開始。現在では、10代20代女子を中心に幅広い層から絶大な人気を誇っています。2017年NHK紅白歌合戦に初出場。「音楽のまち・かわさき」から全国に大きく羽ばたいたバンドであり、川崎市出身であることを全国のライブ会場等で発信し続けています。



なりた まゆみ
成田 真由美
Mayumi Narita

パラリンピックメダリスト
Paralympics Medalist



多摩区在住。アトランタ、シドニー、アテネ、北京のパラリンピック4大会に連続出場し、合計20個のメダルを獲得。2015年に7年振りに競技に復帰し、リオパラリンピックでアジア新記録、日本新記録を更新。2020東京パラリンピックでは6位入賞を果たしました。市民栄誉賞、市民栄誉特別賞、川崎市スポーツ賞、川崎市市民特別賞受賞。

ばんち さとう
パンチ佐藤
Punch Sato

スポーツタレント
Former Baseball Player ,TV Talent

川崎生まれ川崎育ち現在も川崎市在住。元プロ野球選手。引退後は、元気配達人をキャッチフレーズにスポーツタレントとしてテレビ・ラジオ・講演会など多方面で活躍しています。現役時代から、独特の語り口による印象的なコメントでプロ野球ファンを魅了。現在も、多くの人に元気を届けています。



まつもと としお (えくさいる)
松本 利夫 (EXILE)
Toshio Matsumoto (EXILE)

俳優
Actor



川崎市出身。EXILEのメンバーであり、俳優としても舞台や映画、テレビドラマなどで幅広く活躍。社会的活動にも熱心に取り組み、東京2020オリンピックでは聖火ランナーを務めました。川崎市を応援する動画プロジェクト「川崎利夫」では、市内の多彩な魅力を発信しています。

川崎市名誉文化大使

市民文化大使を退任された方に、これまでの功績を称え「川崎市名誉文化大使」の称号をお贈りしています。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 秋山 和慶 (あきやま かずよし) | 東京交響楽団桂冠指揮者 |
| 古賀 稔彦 (こが としひこ) | 柔道家 |
| 名瀬山 兼一 (なせやま けんいち) | 琉球音楽家 |
| 美須 孝子 (みす こうこ) | (株)クラブチッタ、(株)貴後代表 |
| 雨谷 麻世 (あまがい まよ) | 声楽家 |
| 山田 太一 (やまだ たいち) | 脚本家 |
| 林 海象 (はやし かいそう) | 映画監督・プロデューサー |
| 藤村 志保 (ふじむら しほ) | 女優 |
| 佐藤 忠男 (さとう ちだお) | 映画評論家 |
| 長谷川 初範 (はせがわ はつつのり) | 俳優 |
| 与 勇輝 (あたえ ゆうき) | 人形作家 |